

第三回 加藤研究室セミナーの開催のご案内

テーマ: Nothing happens, unless first a dream !

(夢なかずんば、何事も始まらない！)

セミナー開催主旨

理学療法士の養成校の急増により、年間1万人に近い理学療法士が誕生しています。それにより供給過多となり、需要と供給のバランスは大きく壊れてしまっています。そのため賃金も低く抑えられ、労働条件は年々悪化していると思います。しかし、理学療法士数が増えることは悪いことなのでしょうか？

理学療法が臨床現場での実学であるとするならば、臨床研究が新たな理学療法を構築していくためには不可欠であることがわかります。10万人の理学療法士が年間一人1本の研究を行えば、10万本の研究論文が生まれます。これを10年間続けることができたとしたら100万本の研究論文です。そうなれば理学療法は大きく進歩するのではないのでしょうか。その時、もう一度社会における理学療法士の役割が見直されるのではないかと期待しています。

いずれは一例のシングルケーススタディを議論していくことが、最も有用な臨床研究になっていくと思います。しかし、それにはある程度の専門家としての共通した認識・知識が不可欠です。『理学療法学』は、まだそのレベルに到達していません。臨床的知見・見解の底上げが非常に重要なのです。そのためにも今後は多施設間での研究の協力・連携作りがキーワードとなってくると思います。臨床研究の底上げを推進する意味で、今回の加藤セミナーでは、研修および研究発表会とすることといたしました。

また、多施設間での連携を強化するには、本音でのフリーディスカッションが重要です。それぞれの『夢』を語っていただければと思っております。

【第三回加藤セミナーのセミナー内容】

- 1) 臨床研究に関する心構え(講師:加藤浩)
- 2) エクセルを用いたデータ解析方法(講師:大平高正)
- 3) 臨床研究発表10演題 (発表演題名は、参加予定者へ後日メールさせていただきます)

【加藤セミナーに参加するにあたっての注意事項】

- ・「十一の心」を遵守する (加藤先生のホームページで”サムライ”のボタンを押してください)
- ・治療技術の習得を主目的としたセミナーではない

【セミナー参加への申込】

規定の用紙に、加藤セミナーで発表する予定の研究内容を記載して提出してください(研究内容によってセミナー参加を拒否することはありませんが、発表者が多数になる場合は、事務局で選定させていただく場合がございます)

【募集人数】

20名

※1 宿泊先の関係で、参加人数を制限させていただきます。お早目のお申し込みをよろしくお願いいたします。なお申込み後のキャンセルは宿泊先への支払いが生じた場合のみ請求させていただきます

※2 個室をご希望される方は、お早目にご連絡ください。宿泊先と調整させていただきます。しかし、宿泊料金をご変更なることも予想されます。その際は個室をご希望の方の負担とさせていただきます

※3 「発表」は本セミナー参加の必須ではありません。参加のみでもOKですよ

【参加費】

参加費(2000円)+宿泊費(13000円)

【開催日時】

2011年2月26日(土)ー27(日)

【スケジュール】

土曜日: 15:00～ 宿泊先へチェックイン後に九州看護福祉大学へ移動

16:00～17:00 加藤先生講義

17:00～18:20 参加者の発表 発表時間10分×質疑10分・・・4名

19:00～21:00 宿泊先へ移動、食事

21:00～22:00 入浴

22:00～24:00 参加者の発表 発表時間10分×質疑10分・・・6名

24:00～ フリーディスカッション

日曜日: 8:00～ 9:00 朝食

～ チェックアウトして、九州看護福祉大学へ移動 ～

9:30～11:00 データ解析手法:大平先生

11:00～11:30 加藤先生総括

11:30～ 解散

(※ 当日、発表者にはデータ解析用のエクセルマクロを配布できるように準備しております。
バージョンアップしたデータ解析用マクロをゲットしてください)

【申込先】

参加ご希望には、

①氏名

②勤務先

③電話番号(緊急時の連絡がとれるようにお願いします)

④Eメール(フリーメールでかまいませんので、なるべく個人メールにしていだければと思います)

⑤経験年数

⑥発表の希望の有無

をご記入の上、下記事務局までメールを送ってください

折り返し、受付メールを送らせていただきます。

加藤研究室セミナー事務局

大分県立病院 リハビリテーション科

大平 高正

ohira62@gmail.com

【宿泊場所】

湯宿 竹水苑

熊本県玉名市玉名2020-1 (九州看護福祉大学のすぐ近くです)

<http://www.tikusuien.co.jp/plan.html>

※ 詳細はホームページでご確認ください

非常に魅力的な宿泊場所ですよ!!



第三回 加藤研究室セミナー 研究発表申請用紙

記載日: 2010年 月 日

申請者氏名		所属	
研究の テーマ			
研究の背景			
目的			
研究のアイデア			
予測される結果			
臨床研究でどの ように活用させて いきたいのか			

第三回 加藤研究室セミナー 研究発表申請用紙 (記載例)

記載日:2010年 8月 2日

申請者氏名	大平 高正	所属	大分県立病院
研究のテーマ	三次元加速度計による歩行動作解析方法の開発		
研究の背景	<p>日常生活動作において歩行は最も生活の質に直結する。病院内でのリハビリテーションでも歩行の再獲得を最も重要視しなければならない患者は多い。そのため動作解析装置や床反力計、表面筋電図計などを用いた歩行解析が行われ、一定の成果を上げている。しかし、解析機器は高価であり、計測手法も煩雑である。加えて高度な解析技術が必要とされるため、大学などの研究機関での使用に限られることが多く、臨床的な計測手法とはなっていない。近年、臨床普及型の動作計測機器として、小型加速度計が注目されている。加速度計は安価であり、計測手法も簡便である。しかし、加速度データを解析する技術は非常に高度であることが普及への障害となっている。加速度計での計測が高度になる理由の一つとして、被検者の個別性が大きく現れることにある。つまり、疾病の無い健常者同士の比較でも波形に形や大きさが異なるのである。加速度計を用いた歩行動作の解析手法の開発が望まれている</p>		
目的	三次元加速度計を用いた歩行動作解析手法を開発すること		
研究のアイデア	<p>1) 歩行動作解析を計測が簡便な小型加速度計で行う点 2) 複数のパラメーターを多変量解析を用いて標準化する点 3)</p>		
予測される結果	「歩き方」といった動作の質的な側面への意識が高まり、転倒の減少やホームエクササイズの導入もしやすくなる。		
臨床研究でどのように活用させていきたいのか	簡便に歩行動作計測ができるようになれば、集団検診やクリニックでの計測が可能となる。「たとえ疼痛などの症状がなくても、歩行動作障害が認められれば、理学療法による運動指導を受けることで、健康寿命を延ばすことができる！」といったことに発展させていければと思っている。		